

北本市議会議員

大島たつみ

議会報告第8号



プロフィール

1965年（昭和40年）北本生まれ、北本市立中丸小学校、北本市立東中学校、埼玉県立不動岡高等学校、東洋大学経済学部卒業、三国コカ・コーラボトリング他民間企業勤務、衆議院議員公設秘書を経て2011年北本市議会議員当選

〒364-0003

北本市古市場1-36

電話/FAX 048-591-5762

携帯 090-8848-8465

平成25年第3回定例会

9月の議会では、決算7件、条例6件、議決議案7件、事件議決1件、予算8件、報告2件の議案が提出され審議しました。また、一般質問では、自動販売機の設置状況について、税金について、保育所の入所状況について、敬老祝金の支給見込みについての4件を質問しました。主なやり取りについて以下の通りまとめました。

議案より

新駅建設の賛否を問う住民投票条例

JR高崎線の北本駅から桶川駅までの間に新駅を建設することについて、その賛否を市民に問うための条例です。新駅建設については、何年にも渡りJR東日本と事前の協議を行ってきましたが、7月8日の要望活動において、JR東日本から「今年度中に要望書の提出が可能である」との回答があり、新駅設置に向けて状況が大きく前進しています。新駅建設は、北本市にとってかつてない大規模事業となることから、市民の皆様のご意見をいただくため、住民投票を行うものです。

新駅建設について住民投票が行われるのは全国的に初めてのことで、議会に上程された時にも新聞等で大きく報道されましたし、議決の日には2台のテレビカメラが入るほど注目されました。委員会でも本会議でも多くの議論が重ねられ、賛成16、反対3で可決しました。

住民投票は12月15日（日）に行われる

予定で、新駅建設に関する情報は、説明会、広報、ホームページ等で公開されます。

一般質問より

自動販売機の設置状況について

問 庁舎や市の施設等にある自動販売機の設置状況は

答 公共施設に設置されている自動販売機は、全体で57台です。内訳は、北本市社会福祉協議会などの福祉団体との協定で設置したものが50台、指定管理者が販売業者に設置させたものが5台、防災協定に基づいて設置したものが2台です。

問 東京都中野区では、自動販売機の設置について一般競争入札を行った結果、歳入がそれまでの使用料としての21万円から、貸付料としての1,600万円に大幅に増加しましたが、北本市としても一般競争入札方式の導入を検討することが必要かと思うが

答 新庁舎が完成しますので自動販売機の設

置を見直すのにはいい機会ですから、より収益性のある競争入札について検討していく必要性があると考えています。

東京都中野区のように自動販売機の設置を見直すことによって歳入を大幅に増加させた事例があります。これは、平成18年に地方自治法が改正され、行政財産の貸付範囲等が拡大されたことによるものです。行政財産は、原則として、これを交換し、売り払い、譲与し、出資の目的とし、信託し、又はこれに私権を設定することができないとされていますが、例外的に一定の条件の下、貸付等を行うことが可能になります。

保育所の入所状況について

問 今年度の保育所の入所状況は

答 平成25年4月1日現在の状況は次の通りです。

	定員	入所	充足率
公立	430	313	72.8%
民間	466	387	83.0%
合計	896	700	78.1%

充足率について、平成24年は77.1%、平成23年は69.1%でしたので改善傾向にあります。待機児童はゼロです。

問 保護者の勤務時間に関する基準が緩和されたが、それによる影響は

答 個々の調査はまだ行われていないため、詳細な分析はできていません。

あとがき

新駅建設の賛否を問う住民投票は12月15日(日)に予定されています。詳細な情報についてはこれから公開されます。新駅は利用しないから反対という意見もあると思いますが、新駅が北本に与えるメリット、デメリットをよく見極めて、50年、100年先を見据えた北本のまちづくりの観点から必要なのか、不要なのかをよく判断していただきたいと思います。

平成25年第4回北本市議会定例会(12月定例会)は平成25年11月27日(水)から始まる予定です。

子ども・子育て支援法に基づいて、幼児問題審議会が子ども・子育て会議に変わります。その中で保育のニーズ調査をしっかり行い、適切な子ども・子育て支援事業ができるよう注視していきたいと思います。

敬老祝金の支給見込みについて

問 今年度の敬老祝金の支給見込みは

答 毎年8月末日において、北本市に引き続き1年以上居住している方が対象で今年度は、77歳の方が699人、80歳の方が495人、88歳の方が157人、90歳の方が114人、99歳の方が13人で合計1478人の方に総額1146万円が支給される見込みです。昨年度と比べて237人、219万円増加しており、高齢化の進展に伴い人数、金額とも増加が見込まれます。

問 対象年齢の拡大や支給金額の増額など見直しの予定は

答 大きな財政負担になることが予測されるなど課題が多いので、当面は現状維持を考えています。

平成23年度から77歳と80歳の方にも支給されるようになりました。敬老祝金を受け取られた方からは喜びの言葉をいただくとともに、支給に携わっている民生委員・児童委員の方に対する労いの言葉も寄せられています。